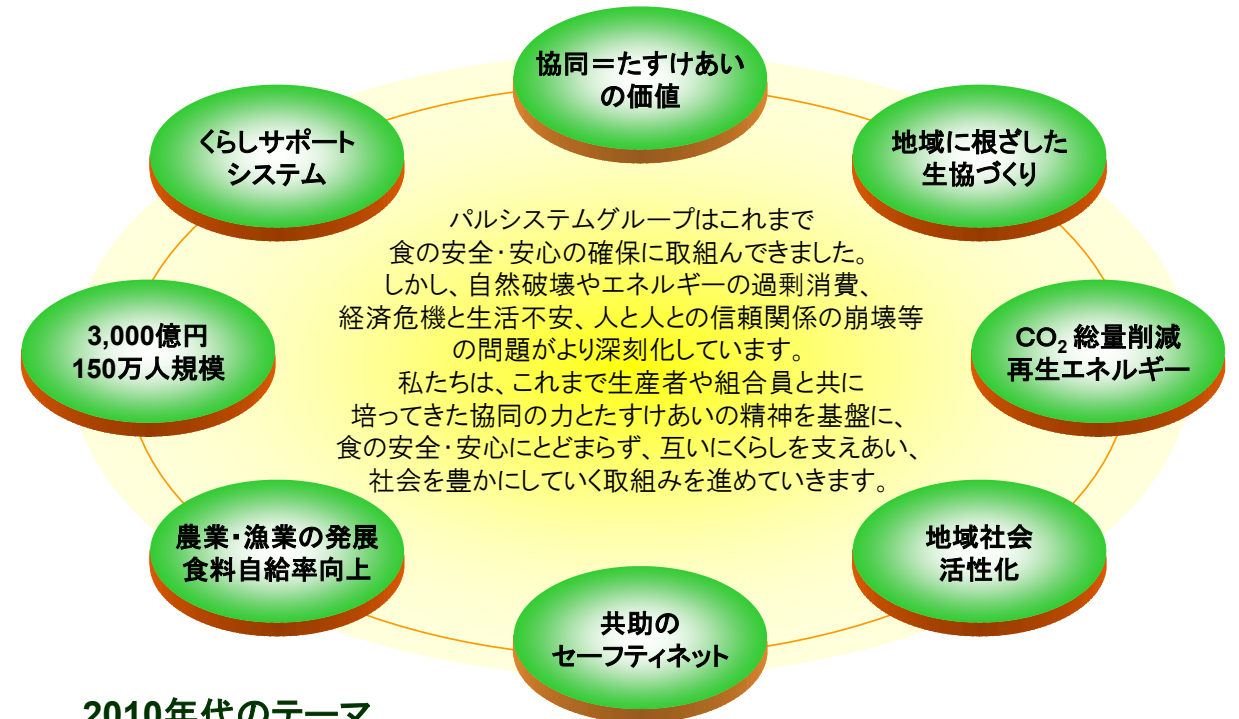


パルシステムグループ 2020年ビジョン案(概要版)



2010年代のテーマ

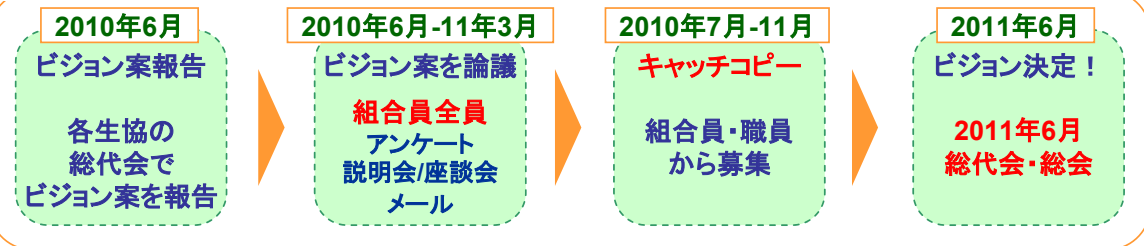
「食と農による社会改革」

2020年までにめざすもの
「たすけあい」「農の再生」「環境との共生」を主軸にした生協運動

食	組合員の暮らしと食の安全を守り、日本の食文化を創造します。
農	産直を強化し、日本の農林水産業を発展させます。
地域	たすけあいと協同の輪を広げ、地域社会を元気にします。
環境	地球環境を保全し、資源循環型社会への転換に取り組みます。
新たなモデル	組合員参加を高め、事業と運動を組み合わせ、地域にねざす生協をつくります。

スケジュール

2010年度:2020年ビジョン策定



2011年~2013年:第6期中期計画

ビジョンの土台づくり:サブシステム、産直強化、組合員参加

2014年:点検年 第6期中期計画達成度評価、ビジョン進捗状況をチェック

2015年~2017年:第7期中期計画

ビジョンの推進:次世代注文・配送システム、福祉事業、地域連携

2018年~2020年:第8期中期計画

ビジョンの仕上げ:「たすけあいシステム」の進化、国際連携

重点目標

【組合員、職員、生産者、取引先と共に】

1. 組合員一人ひとりの暮らしのパートナー(生涯にわたって役立つ存在)になる生協をつくる。
2. 生産者・取引先と共に商品づくりや産直活動に取り組み、双方が発展していく。
3. 職員は生協の仕事・活動を通じて、社会に役立つ活動に参加し、人のために役立つ。

【地域社会への貢献】

1. 食の安全を追求し、組合員参加の共同購入運動で新たなライフスタイルを広める。
2. 暮らし課題解決の事業・運動を確立し、暮らしのセーフティネットになる。
3. 他団体と協同し、地域の活性化、コミュニティ再生に取り組む。

【日本社会に果たす役割】

1. 産直活動を強め、日本の食料自給力を高め、都市と農村をつなぐ役割を果たす。
2. 第一次産業とつなげたモノづくりを促進し、生産者・企業・地域・生協の新たな協働をつくる。
3. 日本の生協運動を発展させ、生協の社会的ポジションを高める。

【世界に果たす役割】

1. 世界の平和、環境、貧困、食料の問題解決に諸団体と連携して取り組む。
2. アジアにおける生協運動を広げ、アジアの人々の暮らしに貢献する。
3. 市民レベルの国際交流活動を広げる。



2010年代のテーマ

「食と農による社会改革」

農業・漁業・林業は、「生命」にとって不可欠である「食」を生み出す産業です。同時に、自然環境の保全や自然災害の緩和、伝統文化や景観の保全、「やすらぎ」の提供など、多面的な機能を持っています。日本の食料自給率を向上させることは、「食のあり方」の見直しと大量廃棄社会から循環型社会への転換を意味します。パルシステムは生命の価値(食と農)を基本においた新たな社会システムを提起します。

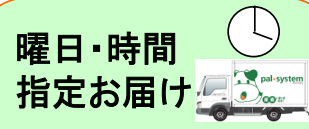
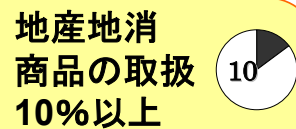
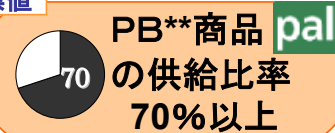
食

組合員のくらしと食の安全を守り、日本の食文化を創造します。

食の安全、高品質を引き続き強化し、安全で美味しい商品づくりに取り組み、くらしに貢献します。

- 食材本来のおいしさと安全性が全ての基本として貫かれた商品開発
- 「地産地消」等の地域内生産物の取扱い強化
- 消費者と生産者の合意の下での、商品の安全性と品質、価格の最適化
- ①共働き世帯、②高齢者・単身者、③地域の法人や団体向け、の商品開発
- 希望曜日・希望時間でのお届けなど、個人対応サービスの進化

目標値



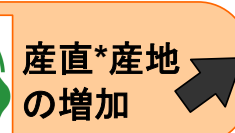
農

産直*を強化し、日本の農林水産業を発展させます。

日本の農業・漁業を発展させるための役割を果たし、食料自給の先進的モデルを創造します。

- 消費者と生産地との交流を推進
- 生産地との交流を通じて、教育・学習の機会を豊富に提供
- 食料自給モデル産地、就農支援制度、支援基金で農林水産業の発展に寄与
- 生協と組合員、組合員と組合員、組合員と生産者・事業者、組合員と地域、がつながる多様なコミュニケーションの実現。

目標値



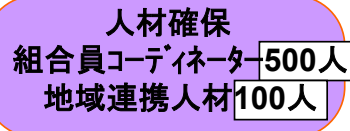
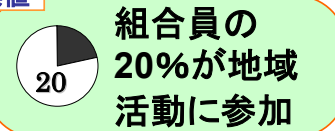
地域

たすけあいと協同の輪を広げ、地域社会を元気にします。

人と人がたすけあい、協同する価値を広め、いきいきした住みよいまちづくりに取り組みます。

- 地域で活動する様々な団体・組織と提携し、商品供給も含む広範な運動を展開
- 生活地域と生産地域、生活地域と生活地域の広域連携の推進
- 組合員同士のたすけあいをもっと見える形にした、共済・保険事業の充実
- 子育て支援、高齢者福祉、障がい者支援など、福祉事業を総合的に推進

目標値



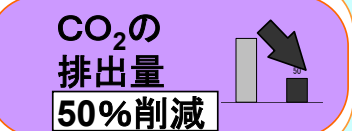
環境

地球環境を保全し、資源循環型社会への転換に取り組みます。

大量生産・消費・廃棄の社会から、自然と共に生きていく社会へ転換していきます。

- 産地と協同による後継者育成と産地地域の活性化を通じた耕作放棄地の削減
- 森林・河川・湖沼・海の水系全体の環境保全
- フードシステム全体(生産、流通、消費、廃棄、再資源化)のCO₂排出量の大幅な削減

目標値



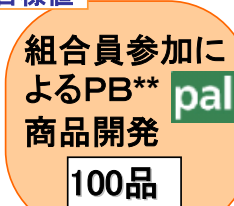
新たなモデル

組合員参加を高め、事業と運動を組み合わせ、地域にねざす生協をつくります。

グループ連帯で統一して行うことと、地域で組合員が多様な取り組みを行う新たな生協モデルをめざします。

- 商品モニター、アンケート、商品づくりの場等、商品開発への組合員参加の強化
- 商品カタログ+人+インターネットを効果的に統合し、一人一人とコミュニケーションの充実
- 現在の供給センターを軸に地域との多面的な接点を作り出すとともに、グループ全体の共通基盤と広域連携の機能を強化

目標値



*産直＝パルシステムの「産直」は市場流通を通さないだけの「産地直送」ではなく、「生産者と消費者の交流を通じて、共に創る運動」としての産直を意味しています。 **PB商品＝パルシステムが独自開発したオリジナル商品。プライベートブランド商品。